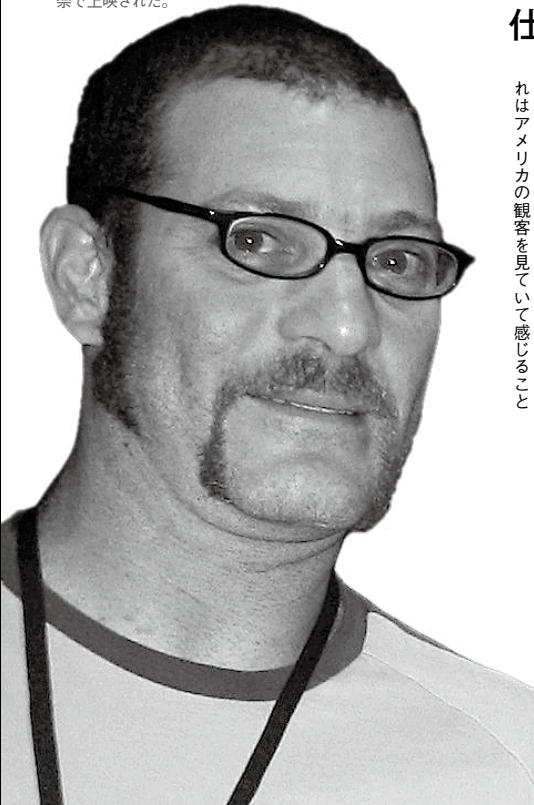


# Nadav Streett

ナダブ・ストリート

イスラエル出身。ハリウッドでポスト・プロダクション会社を運営する傍ら、08年にピンク映画のサイト(Pink Eiga.com)運営やDVDセールスを手がけるPink Eiga, Inc.を起業。09年には池島ゆたか監督出演の短編ドキュメンタリーも制作、映画祭で上映された。



## 米国のピンク映画の仕掛け人として…

自分がピンク映画に注目するようになったのは、日本人スタッフの薦めで観た後藤大輔監督の「フラインド・ラブ(わいせつステージ 何度もつっこんで)」(05)からです。35mmで撮影されたオープニングの美しい森のシーンで完全にKO! この摩訶不思議な映画ジャンルを海外に広めたこと、09年1月からピンク映画のDVDリリースを開始させました。

現在アメリカでは、日本のアニメや漫画などの「サブカルチャー」がブームになっていて、こうした背景がピンク映画を受け入れる下地になったのかもしれない。これはアメリカの観客を見ていて感じることも、ポルノではなく、セックスを話の要素に含んだ日本映画を期待しているんだということ。だからセックス描写がダラダラと長いだけだと席を立つて帰る観客も少なくない。DVD販売数がアマゾンの邦画ランキングで2位だった池島ゆたか監督の『淫乱なる一族 絶倫の果てに』は、NYの映画祭でも大好評だったので、カット数が多く、観客たちもテンポよく映画を観られたからではないかと思えます。DVDセールスは年々厳しくなりますが、ピンク映画が北米だけでなく、ヨーロッパや南米にも広まっていくのを期待しています。

## What's "Pink Eiga"?

海外向けのピンク映画サイト(月平均2万PV数)。予告編を随時アップし、作品によっては40万PVに達することも。これまで12本のDVDを販売するほか、各映画祭と交渉しピンク映画上映を企画。

HP [www.pinkeiga.com](http://www.pinkeiga.com)



池島ゆたか監督の海外版DVD『淫乱なる一族/第2章』



後藤大輔監督の海外版DVD『夜明けの牛 痴漢義父・息子の嫁と』



高原秀和監督の海外版DVD『つむぎ』

# POTENTIAL 유

## INTERNATIONAL

# PINK MOVIE 02

# Alexander Zahlten

アレックス・ツァールテン

ドイツ出身。00年、「ニッポンコネクション」を立ち上げ、プログラム・ディレクターを担当。10周年を迎えた今年、質・量ともに最大級の日本映画祭に。日本の大学に留学し、ピンク映画を含む60年代の日本映画に関する博士論文をまとめた。

## ドイツの映画祭プログラマーとして…

ヨーロッパでのピンク映画を語る上で鍵となるのが、95年なんです。それは、ロツテルダムとウィーンの映画祭で、ピンク四天王の作品が上映された年。ここから、日本映画の研究者や映画祭のプログラマーの間で認知され出していったんです。その後、00年から僕は仲間と一緒にドイツで映画祭、ニッポンコネクション(以降、NC)を立ち上げたのですが、04年にいまおかしんじ監督の『たまもの』で初めてピンク映画を紹介して以来、毎年企画するように。実はいまおかしんじはNCに最も多く参加した日本人監督なんです(笑)。C・ドイルが参加した日独合作映画『おんなの河童』を手がけたラビッド・アイムー

ピース社といまおかしんじとの出会いの場もNCでした。やはり海外で受け入れられやすい日本映画は、ファンタスティック系のカルト作品ですね。NCでも紹介した『花井さちこの華麗な生涯』(05)は、劇場公開、DVD発売、TV放映もされ、国際的な注目度も非常に高かった。ある意味、カルト作品として理解しやすい作品なんだと思うんです。でもプログラマーの立場としては、一過性のブームで終わるよりも、ピンク映画の色んなバリエーションを観客に知ってもらいたい。今は10年前より観客の知識も高まっているし、ピンク映画が浸透してきていると感じますね。



08年、いまおかしんじ監督による舞台挨拶の様様



渡辺護監督、坂本礼監督が参加した09年の会見写真



映画祭期間中、無料配布されるプログラム

## What's Nippon Connection?

メジャー会社の35mm作品からインディペンデントのデジタル作品まで、日本映画のあらゆる多様性を広く発信する映画祭。09年レトロスペクティブ企画で8本のピンク映画を特集した。